

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

名 称	第7回 第4分科会会議事録	場 所	新宿区役所第一分庁舎7階 研修室
日 時	平成17年9月24日 午後1時30分～午後3時30分	記録者	学生補助員 坂巻洋翠、三好加奈子
		区担当	企画政策課 熊澤
出席者：35名 (区民委員：28名 学識委員：3名 区職員：4名 傍聴：0名)			
<p>■配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回第4分科会会議進行次第 ・グループ別の名簿 ・第4回「新宿まちづくり学」講座のお知らせ ・第5回 第4分科会会議事録 ・第6回 第4分科会会議事録 ・委員からの提案 ・小田急百貨店環境活動レポート <p>■会議内容</p> <p>[発言者]●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区職員</p> <p>1、開会</p> <p>○：遅くにも拘わらず、また、雨にも拘わらず、お越しいただきましてありがとうございます。ではさっそくですが、始めさせていただきたいと思います。最初に本日の進行についてお話ししたいと思います。まず、本日のテーマとしてリーダー会の報告事項についてですが、先日各リーダーの方にお集まりいただきましてリーダー会を開きましたので、その報告を吉田先生からさせていただきます。その後環境に関する企業の取組みということで、エコエコグループの石塚委員に企業の取組みをご紹介します。今お手元にパンフレットがあると思いますが、20分くらいを予定しております。そして、グループワークに入ってくださいまして、最後に事務局からの連絡になります。最後に、次回以降の会議日程につきましてご説明いたします。事務局の連絡が終わりまして会議終了となります。このような形で進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>2、資料確認</p> <p>それでは最初に、本日お配りいたしました資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本日の会議進行次第 ②新しいグループ別名簿 ③第4回「新宿まちづくり学」講座のお知らせ ④第5回 第4分科会会議事録 ⑤第6回 第4分科会会議事録 <p>お手元がないものがありましたら、私の方までお知らせいただきたいと思います。では、本日のテーマに移り、リーダー会での報告事項につきまして、吉田先生よりお願いします。</p>			

3、本日のテーマ

①リーダー会議の報告

◎：皆さん、こんにちは。各グループのリーダーの方、前に出てきていただけますでしょうか。先週リーダーの方に集まっていたきまして、今後の第4分科会の進め方についてですとか、委員の方からのご提案をいただきましたことについて協議いたしました。後ほど皆さんにこのご提案等について、お諮りしたいと思います。まず、各グループの活動状況についてご報告をいただきました。それぞれが熱心に活動をされているという状況です。詳細につきましては、この場では時間の都合上省かせていただきますが、グループ発表のときに各グループの総括をしていただきたいと思います。また、私自身すばらしいなと思ったことがありました。緑化のグループだったと思うのですが、議論の進め方についてルールを決めておられて、大変効率的にやられていると思っております。こうしたよいところはどんどん導入して、各グループで議論を進めていただければと思います。

それでは2点ご報告があるのですが、1点目としまして、委員からのご提案についてですが、議会の進め方について、質問が長いのではないかというものでした。リーダーの中でもそれは当然だね、というご意見が多くありました。もし事前に質問があるならば、質問カードを提出して解決するにすればよいのではないかということでしたが、それでよろしいでしょうか。いろいろな議論をリーダー会の中でいたしまして、確かに1人が長く話すということは問題だということにもなりましたが、反対にすべて塞いでしまうのもよくないだろうということになりました。そのため合理的かどうかわかりませんが、議論の場で質問ができるときには、第4分科会では、1回3人、1人3分までというルールでいこうではないかということ、リーダー会で決めました。それでいかがでしょうか。3分ですので、事務局に時間を計っていただき、延びるようであれば止めていただくということにしました。ご異存がなければ、拍手をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございます。リーダーの皆さんもありがとうございます。

次に2点目のご報告ですが、第4分科会をどのように進めていこうかということですが、リーダーの方々からいただいたご意見で一番多かったのは、もっと議論したいということでした。私も当然だと思いますし、今日のグループワークもできるだけ時間をとってやっていただければと思っています。ただ一方で、私も申し上げたのですが、月2回の限られた時間の中でお集まりいただいていますので、特に集まっていただく場では、皆さんで情報を共有するとか、何か物事を皆さんで決めるとか、そのような機会にできるだけ使っていきたいと思っています。

議論等は各チームで個別にやっていただき、その成果を持ち寄るとか、みんなで共有するという場に使っていくということで、今後進めていければと考えています。よろしいでしょうか。

学識側もできるだけ皆さんをご支援できるよう、今後も努めていきたいと思っております。

それから、今後持ち回りでこうしたリーダー会議の報告をさせていただきたいと思えます。以上長くなりましたが、リーダー会議のご報告を終わりにいたします。

◎：それでは次に、環境に対する企業の取組みということで、エコエコグループの石塚委員から、小田急百貨店の環境活動について、お話いただきたいと思えます。

②環境に対する企業の取組み（小田急百貨店環境活動レポートより）

●：それではお手元にお配りしております、小田急百貨店活動レポートという青い冊子、こちらの方をご覧くださいながら、聞いていただきたいと思います。

まずこちらの冊子ですが、いわゆる環境活動レポートということで、環境報告書であるとか、一般の会社ですとちょっと恐らくページ数も多いと思われませんが、当社の場合は、百貨店ということですので、一般のお客様中心に読んで頂きたいということで、読み物というよりは、パッと見て分かる内容になっております。この冊子は2冊目になっております。みていただきますと、3、4 ページで当社の取組みが分かるようになっております。まず売り場における取組み、百貨店は売り場が中心です。次に右側の方にバックヤードにおける取組みということで、こちらの方もなかなかいろいろな仕組みがありまして、それがないと現場も動かないということで、こちらの取組みについて書かれております。3番目に大きなビルですので、下の方にございますが、施設・設備における取組みということで、当社では3店舗と小規模な百貨店なのですが、それぞれ非常に大きなビルを抱えておりまして、省エネルギー法上も第一種となるようなビルで、そういったビルにおいてどのようなことをしているのかということをご紹介しております。

個別のお話になりますと、まず5、6 ページを開けていただきたいと思います。百貨店ですので、商品が主な取組みになりまして、左のページに大きめの写真がございますが、小田急環境優品といったマークを決めて、ポップを作って、お客様にご紹介をしております。小田急環境優品は何かと申しますと、当社独自の基準を設けまして、それに当てはまるものを小田急環境優品としてお客様に店頭でご紹介しているということです。マークは社員より公募し、オリジナルのものを作りました。認定品目につきましては、左の方に選定数ということで書いてございますが、商品ですのでやはり季節的な出入りですとか、定番なものとか、廃番になってしまうものもありますので、常にこの数が店頭にあるということではないのですが、一応この数を認定しております。代表的なものを写真と説明で書いております。少しご説明いたしますと、オーガニックのコットンタオル。これは有機栽培で作しまして、染色等にも非常に気をつけております。右にはオリジナルのマイバックは、新宿店のハンドバック売り場で扱っております。ペットボトルの樹脂を使ったポリエステル 100%のお買い物バックとなっております。お値段もオリジナルのもので、通常のものよりも抑えたものとなっております。水洗いのできるスーツですとか、自然化粧品、これはドイツ製のものですけれども、実験の段階であるとか、原材料の段階から全ていろいろな環境配慮をしているものです。下の方は、時計売り場の目覚まし時計ですが、電池を使わず、太陽光のソーラーパネルで発電をするということで、電池が廃棄物になる心配がないということになります。食品につきましては、有機栽培ということで JAS マークというものがありますので、そういったものをご紹介しております。

文房具では、こういった廃材を使ったようなシャーペンやボールペンを売っております。

次のページに移りますが、こちら売り場の取組みですけれども、サービス面と環境配慮を合わせたサービスを行っております。例えば左のページのスタイリングコーディネーターが商品をご案内いたしますということなのですが、百貨店としましては、できるだけ衝動買いをしていただいて、たくさん買っていただいた方が、もちろんよいのですが、そういうことになりますと、必要のないものを買ってしまうということがあると思います。それを解消するために、このような係員にご相談をいただければ、効率よくお気に召したものをご購入いただけるということで、環境にも間接的に配慮しているアドバイスができるのではないかと考えております。また、簡易包装をお客様にお願いし、広告宣伝物などの当社の新聞折込みはすべて 100%の再生紙を使い、インクも大豆インクを使用しております。緑化の方もありまして、新宿店の屋上の一部をこういった形で（本格的ではありませんが）芝生を中心とした屋上緑化の空間を

作っております。ここもきれいにお客様に使って頂いております。
次のページに移りまして、9、10ページですが、バックヤードにおける取組みと施設・設備における取組みをご紹介します。例えば9ページで、「通い箱」の推進ということで、百貨店にはたくさんの商品が納品されてまいりまして、その入れ物として使い捨てのダンボールが中心となってしまいましたが、それではゴミでいっぱいになってしまいます。もちろんダンボールはリサイクルにまわしていますが、それでも大量になります。折りたたみ式のプラスチックの箱を使い捨ての段ボールの代わりに使用し、納品を進めるようにしております。まだまだ全部という段階ではありませんが。ハンガーも以前の使い捨てから、百貨店協会全体で取組みまして、百貨店統一ハンガーで使いまわし、専門の回収業者に回収してもらい、取引先のアパレル会社に協力していただき、再度そのハンガーで納品してもらっております。また当社の従業員の制服も再生ペットを使ったものでやっておりますし、社内のごみの分別では、缶とアルミを分けるなど、店内で分別リサイクルができるようになっております。物流車両もなるべく数を減らし、天然ガス車を使うエコ車を利用するなどしています。10ページで設備における取組みについてありますが、例えば反射板を使った照明であるとか、節水、トイレでは100%節水装置をつけています。厨房施設では、なるべく油分を分解するような設備を作ったりするなど、PCB問題はしっかりと管理しております。また外の装飾に関しましても、LEDを使用した電力を抑えたクリスマス装飾もおこなっています。

11～12ページでは、店内では一つの循環の輪を作っているということのご紹介をしております。湿式ASシュレッダーという特殊なシュレッダーに店内で使った紙ゴミを入れますと、パルプ状になり、文字が全く読めない状態になりますので、環境配慮（薬品を使っていない）や個人情報の保護になります。そのためこういったシュレッダーを使用しております。なぜ環境配慮になるかといいますと、この機械では薬品を一切使わず、水をシャワー状に吹きかけて分解していることや、このパルプ状ですと、製紙会社さんは、製紙原料としてそのまま引き取っていただくことができます。普通のシュレッダーでは製紙工場に持っていきましても、釜で浮いてしまって良質な紙にならず、トイレトーパーくらいにしかならないが、このシュレッダーのものですと、繊維が絡みこのまま製紙工場再生紙の原料になるということになりまして、有料で引き取っていただいております。またその引き取っていただいた紙は、小田急循環再生紙ということで、当社で伝票であるとか、社内報であるとか、こういった冊子に使っているということで、昨年の暮れにはエコプロダクトでご紹介させていただいております。

その先をお読みいただければ、お分かりいただけると思うのですが、ここに書いていないことで、当社でやっておりますことをご紹介します。店頭ではエコマイバッグキャンペーンといって、ポイントカードをお持ちの方で店頭にて、今日は手提げがいらぬということで、袋を断ると1日1回ポイントカード5ポイント、5円分をつけております。そういったポイントをつけることで、お客様に特典を差し上げ、ごみになる袋を減らそうと活動を行っております。その他、(新宿駅)西口駅前西口商工会の方々と協力して、清掃美化活動を行っております。私自身も月一回参加しております。そのように地域の美化にも取り組んでいます。歩きタバコ禁止に合わせて店頭の灰皿を撤去、従業員にも教育し、会社に来る時や帰る時でタバコを吸わないように徹底いたしました。店内の教育につきましては、社員・従業員にポリシーカードを配って会社の環境方針等を把握させています。

以上でございます。

- ◎：ありがとうございました。大分先進的なお取組みをされているようなのですが、ご質問のある方は、この機会ですので何かありましたら、どうぞ。
- Q1：ちょうど説明がありました簡易包装のことなのですが、今どのくらいの比率でしょうか。簡易包装とそうでないものについて。
- A：非常にそれは出しにくいものでして、あくまでサービス業が中心ですので、お客様がきちんと包装してほしいとおっしゃられたら、そうしなくてはなりませんので。
- Q1：私がおもうのですが、原則を簡易包装にして、過剰包装といいますでしょうか、そのようなものをやめてもらったお客様には、先ほど袋でありましたような、ポイント制によって還元されるようなものが、やはり環境面からいって徹底したやり方ではなかろうかと思うのですが、いかがでしょうか。
- A：はい。そのことにつきましても実施したかったのですが、線引きが非常に難しいものであります。
- Q1：本人の意思によって、1ポイントであるとか2ポイントであるなど、それについては職場の方で決めればよいことでは。
- A：はい。それにつきましては全社で決めなくてはならないことですので、議論もいたしました。やはり紙袋だけにしようということで、ポイント制につきましては紙袋だけとなりました。
- Q1：簡易包装が3～5%では意味がないと思うのです。お客さんも最近環境についての配慮がありますから、説明もうまくやればお客さんによっても贈答に使う場合においては、簡易包装というわけにはいかないと思います。そのときはやっていただいて、それ以外で協力してくださるお客さんには1ポイントでも2ポイントでもいいから、そのようなことをするのが徹底しているのではないだろうかと思うのですが、ご検討のほどを。
- A：はい。
- Q2：環境省の環境大臣事業というのを今年始めていますけれども、小田急さんとしては何か取り組んでいらっしゃいますか。
- A：はい。今のところは取り組んでおりませんが、来年度のテーマといたしましては社員の教育をやっていこうと思っています。例えば、家計簿ですとか、そういった環境大臣というものがあるということで、社員の各家庭でやってもらうようなことを考えています。
- Q3：ごみをかなり分類されていらっしゃいますが、生ゴミもかなりでると思うのですが、どのようにリサイクルしていらっしゃいますか。
- A：生ゴミにつきましては、昨年からは生ごみを豚の飼料にリサイクルしていました。しかしながら、昨年暮れにその会社の経営状態が悪くなり、現在は肥料として、千葉県のある会社に出しております。生ゴミは7割くらいリサイクルに出しております。残りの3割は売れ残った商品で、容器と食品を分けなくてはならず、閉店後にその作業をしていると朝になってしまい、作業場無理ということで、仕方なく燃えるゴミで捨てていますが、7割はリサイクルしています。また、今年4月からは豚の飼料工場が稼働し始めたので、そちらに出しまして、循環型ということで、店頭でその飼料を食べた豚を売りたいということで計画しているところです。
- ◎：それでは丁度先ほど決めました3人の質問が終わりましたので、ここまでにごさせていたただきたいと思っております。(石塚委員)今日はありがとうございました。拍手をお願いいたします。

たします。

(拍手)

続きまして、グループワークに入らせていただきたいと思いますので、進行の方を吉田先生にお願いいたします。

③グループワーク

○：石塚さん、どうもありがとうございました。すばらしい取組みで、大変勉強になりました。さっそくですが、前回分科会で消化不良になってしまったと思いますので、グループワークを引き続きやっていただきたいと思います。簡単なおさらいですが、これは皆さんが進める上での一応の目安でして、これがあつた方が、全体が捉えやすいであろうということで、書かせていただきました。また発表の形式等につきましては皆様の自由です。前回のリーダー会議でもう一回きちんとワークショップのやり方で行った方がよいのではないかと、というご意見もありましたが、一方で、皆さんが自由にやっても比較的上手にできていますので、あえてそれは必要ないのではないかと、というご意見もありました。そのような状況も踏まえ、引き続き皆さんにディスカッションしていただいて、まとめも自由にしたいと思っています。ただ、先ほども申し上げましたように、各グループが今どのような取組みをしていて、どのようなことを目標にして進もうとしているのか、その過程の中でどのような取組みをしているのかが分かるようにお示しいただいて、皆さんで共有していきたいと思っております。

グループのリーダーの方にお話を伺った様子ですと、やり方にそれほど差異はないと思っておりますが、テーマによって、まず情報をとるところもありますし、現地調査をされる場所もありますが、第4分科会として到達するところは最終的に一緒になりますので、そのための目標をまず各チームで決めておくということが必要ではないかと思っております。今日はそのあたりについてご議論いただければと思います。新宿区の中で何を行うのかということに焦点を当てて考えていただければと思います。また、現状把握は、新宿区はどうなっているのか、あるいは新宿と近い区はどうなっているのか、または日本の他の市町村ではどうなっているのかという視点での調査も必要かもしれません。たくさんすばらしい本もでていきますので、本や資料も参考にすることもあるかと思っております。そして具体的にどういうことが課題となっているのかを知りたいという要望もあるかと思っております。これには区の担当者の方にお話を伺うのも一つの方法だと思っておりますし、先ほどの現状把握の中から皆さんの中で見出していくこともあるんじゃないかと思っております。それから取組み、施策の評価は、簡単な区の行政の評価についてのご報告がありましたけれども、分からない部分もいくつかありましたが、分からないで済みますのではなく、実際区が何に取り組んでいるのかという点についてチェックしてみることや、その中で具体的に問題となっているところ、できていないところを確認しておく必要があるのではないのでしょうか。

前回のリーダー会でのご意見で、屋上緑化の件についても東京都との関係で、できることやできないことがあったり、法律の制約があったりするのではないだろうかとか、それを気にしてしまったら何もできなくなるというご意見がありました。それはごもっともですし、基本的な条例や規制などの枠組みは押さえなくてはなりません。それにとらわれてしまって我々が目指したい環境の目標を実現するための議論ができないならば、意味がありませんので、それは情報として押さえておくことにして、議論の際には自由にやりたいとリーダー会では話しておりました。今日もその方向でやればよいと思っております。それから最終的には、言い放しというのはよくないので、では具体的に目標に向かって何をするのか、どんな取組みをするのかというアイデアを私たちの中でもたくさん出していかなくてはならないと思っております。これは来年の6

月に区長に対して行う我々の提言のときまでに出せればよいと思いますが、どんどんいろいろなアイデア出して、皆さんで生み出していくような議論を進めて行きましょう。さっそくグループワークに入ってください。

15時までを時間としてとります。15時から1グループ最大5分をめぐりに簡単な発表をしていただきます。

<5つのポイント>

1. 目標の設定
2. 現状の把握
3. 課題の洗い出し
4. 取組・施設の評価
5. 具体的なアイデアの提案

(グループワークに入る)

④グループ発表

●1：資源循環

資源循環型社会とは一体どういうものなのか、どういうものをイメージしているのかということをお互によく話し合いました。資源循環社会というものはただ資源が回ればよいというのではなく、やはり資源が回ればエネルギーも消費する。環境も負荷を与えるわけですから、まず発生抑制をしなければなりません。それから循環させる場合にもできるだけコストがかからない、それからエネルギーを使わない、そして環境にも負荷を与えない、そういうような資源循環型社会でなければならないという意見で一致しました。それで、新宿区内の資源の循環について、絵を描いてみました。まず私たちが消費して、ごみ・資源を排出します。それを収集・運搬して、一部は処理・処分されますが、大部分はそれが資源化されて、商品化されて、また、私たちが買い入れて消費するという循環になっています。

今回話し合ったことは、各段階において、ここ一ヶ月くらいのあいだに問題・現状を調べ、課題を洗い出し、その解決のためにどうする方法があるのか、私たちはどのような解決を望んでいるのか、段階ごとにまとめていこうというものです。そのような作業をしながら、一方で現状を知るために新宿区のごみの中でも事業系、事業系の中でも大規模な事業者は割合しっかりとごみの処理・資源化ができていますが、中小の事業者さんのごみはどうなっているのか、その辺が非常に問題なので、歌舞伎町の事業系のごみについて見学に行くことになっています。10月4日あたりを予定しております。ご都合が合う方でご希望される場合は、ご連絡ください。

●2：環境教育・学習

実は先週集まって議論しました。何を目標にして、どういうところをねらっていこうかということで。最初はここに書いてあることと全く違って、子どもたちに対する体験学習とか、どういったことを教えていったらよいか、そういったことを中心に進めていきました。いくつか議論しているうちに最終的には、キーワードとして出てきたのは、マナー・常識・心などが必要であるということになりました。そこに視点をもっていけないといけないのではなかろうかということです。環境も守っていくとか、自然を大切にしていこうとかいう意味で教育という観点から考えた場合、常識などは大変基本的なものですが、それを挙げていこうということになりました。そのためには何をやったらよいか、やっっていこうかという面から、最終的にはそのような提議

ができるようにしていきたいと思っています。ねらいは言葉でいうと「優しい私の町新宿」になります。区民の意識を少しだけ上げることによって、そのような街が作れるのではないだろうかということです。関連するものとして地域や学校、企業、職場などそれぞれの利害関係などや相関関係があると思います。また大人であるとか子供であるとか、あるいはシルバー世代を含めまして、やはり現実を直視して見ていこう、その中で見ていこうと思っています。そしてこれをどういうふうにしていくかについて、ときちんと現状を把握して考えていきたいです。新宿に住んでいることが楽しいといった方策が立てられたらよいと考えています。身近な環境だけではなくて、心とか命の尊さ、感動を共有できるようにするには、自然体験をというように。そういった面から考えてみると、自然という大きな枠でとらえて、感動を共感できるような企画づくりをするような、最終的にはマナーのあたりをやってきたいと思っています。これが現在の進行状況です。

●Q：私たちは美化なのですが、最終的にはみんな教育の方にいってしまうのですが、あまりにも科学が発達して、心がなくなってしまったのが現状ですから、この問題をすすめる場合ですと5年や10年ではとてもできる問題ではないのですよね。今回の場合は10年先ですので、あらゆるものと平行してぜひやっていただきたいなと思います。宜しくお願いいたします。

●Q：プログラムの実施主体の検討はどのようにされるのでしょうか。環境学習の実施主体は誰が施すのか。

●A：まだ具体的なところは挙がっていません。今私たちが考えているのは、方向性であって、今後考えていきたいと思っています。

●3：緑化チーム

テーマは新宿の10年後の自然を考えることです。(図で)魚のしっぽを作りまして、これから現状把握する際に、これを基礎にします。この図はどんどん進めていくうちに変わっていくことが望ましいと考えています。最終的に整理されて、中心に問題点があるような図になると。前回グループでは各個人のフリートークをし、否定的な意見・現状に対する文句も認めるということで、たくさんの情報を集めるという目的でいたしました。また、最初のミーティングで出ましたのが、公園の管理と街路樹という2点で、それに絞られました。そこで今週の月曜日にエコギャラリーで独自に分析をしました。最初に区の生態系の状況をどう考えるかで参考になったのは、「緑の回廊」でそれを緑の中心の視点に置きました。次に公園の現状をもってきました。現状把握は大・中・小の各区分・公園の管理状況などです。現在の評価は個人的に行なっているので正しいかどうかわかりませんが、レベルが低いようなことが多いのではないかと思います。街路樹について、街路樹は都市計画に伴って作られるもので、私たちの分野では直接扱えないものなので、一時保留にします。区民としての協同参画を中心にしまして、公園にはいろいろなサポーターがいますので、それを一応挙げておきました。それを基本として魚のしっぽを作っています。今後、街路樹がある公園とボランティア活動を中心として検討をしていきたいです。その他の要因は整理ボックスに入れて後に検討します。最後に企業につきましては、次回に考えていきたいと思っています。

●4：温暖化チーム

家庭と事業所を柱として対策を進めていこうと思いました。考えていく視点というものは電気と熱と自動車の3つになります。これからはこれをもとに、現状を把握したり、課題を見出したり、具体的な提案をしていきたいということを考えています。例えば家庭なら半日区民がいる、お年寄りの人がいる、若者がいる、そういういろいろな家庭があります。その場合、半日区民の電気の対策はどうしたらいいとか、自動車通勤している人の場合、どうすればよいのだろうか、企業の場合、特に飲食業が多いのですがどうすればよいのかなど、いろいろな家庭や業種に合わせた対策をどうしていくべきかを考えていこうということになりました。最後にヒートアイランド・省エネ・クリーンエネルギーの3つのことも背景にありまして、これらも考えていこうということになっています。

●5：まち美化

おとともって話し合ったのですが、どういうふうに進めるかといった問題です。最終的にどうもってかということで、最初に言っていたことなのですが、身近の日常の問題から提起して、解決していこうということになりました。活動の指針としましてはこういうことです。(図をさす)個別のテーマに関しては、これまで3回にわたり、それぞれの思いを出し合いました。ここにあるものには、それを全部出しきれておりませんが、概略として、このようなものが我々の問題点であろうというふうに考えております。このような問題1つ1つについて、この後の問題点の洗い出しがあり、解決策の模索があり、そしてそういうことを踏まえて、我々の身近な周辺的生活環境はどうでありたいかという将来像にまとめていくことができればよいのですが、大変なことだと思います。そのようなことで、私たちはまだ各人の問題意識を出し合ったというのが、今のところであります。グループ名が、まち美化というのがお掃除おじさん、お掃除おばさんのようなので、「環境と美化」に改名いたしました。それと、中央区の佃島には高層マンションが沢山建っていて、そこにはまだ古い町並みが残っていて、皆さんにも関連のあることではないかということで、10月15日にお散歩として計画しました。帰りは月島でビール。歩いて疲れて一杯という感じです。

●6：エコ・エコ

目標の設定ということで、大きく地域の中でコミュニティビジネスを考えるということにしました。新宿区らしさということで、都の中心であり、大企業もたくさんある一方で、中小企業が多いということで調べていただいたところ、3万7千260社ということです。しかもサービス業が多いこと、中小企業をどう巻き込むかがポイントではないかということで、その地域の特性と特性である中小企業の多さというものを、どうやって巻き込んでいくかということが大切ではないだろうかという話になっています。具体的に、例えばポイントの利用として、レジ袋ポイントの制度ができれば、それを通過人が多いということで、ポイントを貯めなくてもその場ですぐ使えるというような形や、住んでいる方の場合はエコマネーという地域通貨ができないかどうかや、中小企業が多いということで、お互いに企業同士、商店街同士を含めて情報交換の場作りが大事ではないだろうかと考えています。また地域内でISOを取得することなどは非常に難しいですので、エコアクション21をもっと簡単にしたような、地域内でも認証できるものがないかどうかということで、先生からアドバイスをいただきました。大切なのは、必ずお互いにメリットのあるシステムが大切であると思

います。得になることがなければ続かず終わってしまいますので、そのシステムをつくることと、単純な仕組みを頭に置きながら、具体的な現状把握と、具体的な提案をしていきたいと思ひます。

○：以上で6つのグループの発表を終わりにします。どうもありがとうございました。限られた時間中で、皆さんすばらしいまとめ方をされていて、非常の感心するものが多かったと思ひます。引き続き精力的にこれを元に組み立てていただきたいと思ひます。また、次回のリーダー会議でもどういったことを皆さんと作業するかということをし議論して、次回また皆さんと一緒にワークをしていきたいと思ひています。

●：明日（9月25日）神社の鉄砲隊が出動しまして、空砲を撃ちます。9：45分から出陣式があつて、普通はかんしゃく玉ですが、空砲を撃ちますので興味のある方はぜひどうぞ。

○：最後に輿水先生が講評して下さるとのことですので、お願いいたします。

○：「循環」のところ、枠はできていたのですが、いつも最後までいきません。最後までいってください。そこはポイントですので。それから「環境教育」、少し甘いと思ひます。心とかマナーとか、そのようなところで終わつては駄目です。心を取り戻すのに、やはり教育が大事なのです。それにはどうしたらよいかというところを考えないとうまくいきませんので、そこをぜひお願いしたいと思ひます。「緑」はみんなが一番関心をもっている問題ですから、ぜひ早く目標を立ててください。何をしたらよいかという目標がないと駄目だと思ひます。それは「温暖化」も同じでして、ぜひ数値目標を作ってください。電気を10%と減らすとか何でもいいので、ぜひ市民ができる、主体が取り組むべき数値目標を出せると、うまくいくのではないだろうかと思ひます。それから「美化」は実行に対してですよね、どのように実行してゆくかを考えないと、この問題はなかなか難しいです。「エコビジネス」、これはもっとも新宿らしいおもしろいものになりそうなので、期待しております。

○：どうもありがとうございました。それではこれで、グループ発表は終わりにしたいと思ひます。

●：確認の意味で質問なのですが、前回と今回で目標の設定・現状把握ということで、言ってみれば作業ワークの計画方針を組み立てたのかなという認識にあります。あるいはこの目標の設定、以下5番目までの作業のマイルストーンをどうスケジュールでこなしていくのか、というところをリーダー会議などで議論して決めていくと思うのですが、そこを筋道を作っておきたいと思ひます。そうでないと、話が途中でぐちゃぐちゃになるのではという気がします。

目標の設定なども先ほどお話がありましたが、我々は目標設定というのはチームとして何を2月の段階にアウトプットするのか、どの程度のものをアウトプットするのかということの目標の設定という考え方をしましたので、数値目標とかそういったことについて議論はしませんでした。数字目標も入れて下さいということであれば、早めにそういった条件設定を入れてもらいたかったというのが今日のお話ですね。1～5番までのスケジュールをどうするのか、せつかくここまでワークをしてきたわけですから、いつごろ決まるのでしょうか。こういった質問はいけないのでしょうか、それともみんなでがんばって決めようという話なのでしょうか。

○：今話があつた後者ですが、みなさんで決めていければよいと思ひます。次回のリーダー会議の中でもそのあたりについては話し合つてまいります、2月19日に発表する

ということについて事務局から前々回にご連絡があつて、それを逆算しますとそろそろ議論ばかりをする会議は限られてくると思います。前々回、あくまでも案ということで、お示しさせていただいた12月までのスケジュールについて、今それに沿って(あくまで目安ですが)12月までに各グループでまとめができていけばよいと思っています。それでは、各分科会その間の時間で皆さんどのようにやっていくかということ、リーダー会議で詰めたいというふうに考えています。区民会議で決められている大きなスケジュールで2月19日の中間発表がありますので、その企画の立案も含めて私たち区民会議で決めていかななくてはならないのではないだろうかとも考えています。そうなりますと、やはり12月いっぱいになります。1月はもう第4分科会としてのまとめの作業になっていくと思いますので。

各メンバーの方もご意見やこういうふうに進めたらいいよということがあれば、ぜひリーダーにお伝えいただいて、リーダー会議で議論していただければと思います。以上のようなことでよろしいでしょうか。

●：確認ですが、12月の中間レポートにおいては1～5番までの項目についてある程度、書き込みをされたものをつくり、それを目標とするというようなイメージでいきますでしょうか。

○：スタートはその方がいいと思います。全体としてこのように見えていた方が作業はしやすいと思いますが、この辺の進行状況はみなさんと相談しながら進めたいと考えています。例えば犬塚さんのグループのところのように非常に効率的にやりたいと考えているところもあれば、まず現場は足でかせごうというグループもありますので、初めの1・2・3(議論の目安)で時間がかかってしまうのではないかと予想していますが、結局具体的なアイデアの提案で意見として出てくるのではないだろうかと考えています。まずは1・2・3でエネルギーを使うことになるのではないかと思います。ですから10月いっぱい、皆さんと議論しながら、スケジュールも作っていきたくと思っていますが、中間のまとめでは、ある程度のことは言えるような感じでいければ非常に理想だと思います。なかなかそうはいかないと思いますが、リーダーのみなさんとコミュニケーションを取りながら進めていきたいと思っています。12月に何らかのアウトプットを出すということは、最大の目標ということで。

あとはリーダー会議を通じて、皆さんと決めていきたいと思っています。

4、閉会

◎：それではみなさんどうもお疲れ様でした。事務局からの連絡事項です。時間もおしていますので簡単に済ませさせていただきます。次回以降の会議日程ですが、次第の方に記載してございます。

第8回 10月7日(金) 18:30～20:30 区役所第1分庁舎7階研修室

第9回 10月23日(日) 13:30～15:30 区役所第1分庁舎7階研修室

となりますが、よろしいでしょうか。

●：日曜ですが大丈夫なんでしょうか。

◎：今回都合で土曜日の調整がつかせませんでしたので日曜日というふうに設定させていただいたところです。大変申し訳ないのですけれども、ご理解いただきたいとおもいます。よろしいでしょうか。ご異論がなければこの日程で開催させていただきます。

次に、第4回のまちづくり講座につきまして、今回ちらしをお配りいたしました。早稲田大学の国際会議場で行ないます。10月19日の水曜日ですので、ぜひご参加いただければと思います。それから次回のリーダー会議の日程ですが、9月30日の18:00から行ないますので、宜しくお願ひいたします。以上ですが、何かご質問等ありますでしょうか。ないようですので、最後に皆さんからご連絡事項等あればどうぞ。

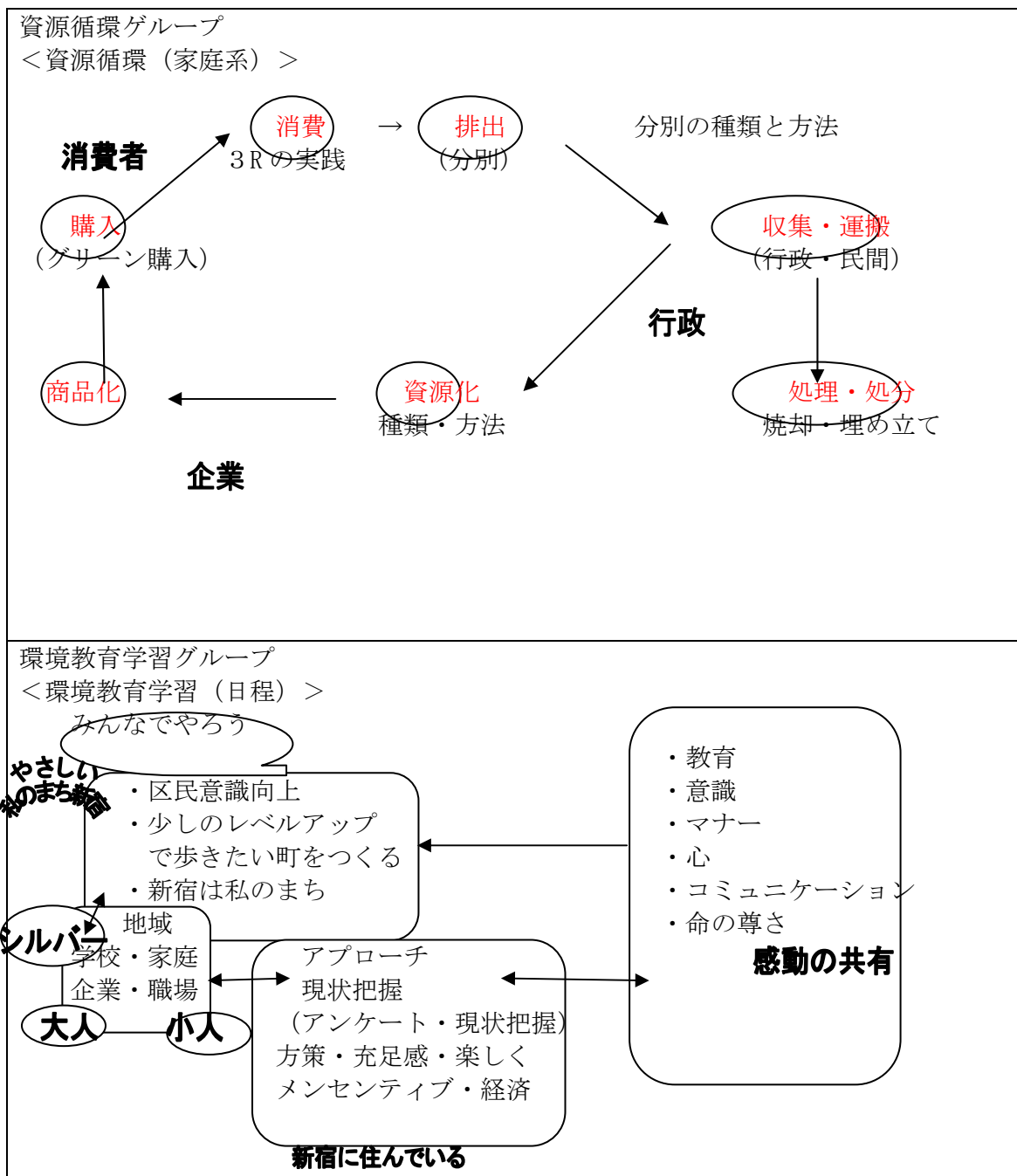
●：スケジュールのことですが、今、10月のことが出ていますが、11月や12月のことがある程度見えているならば、早めに教えて欲しいのですが。

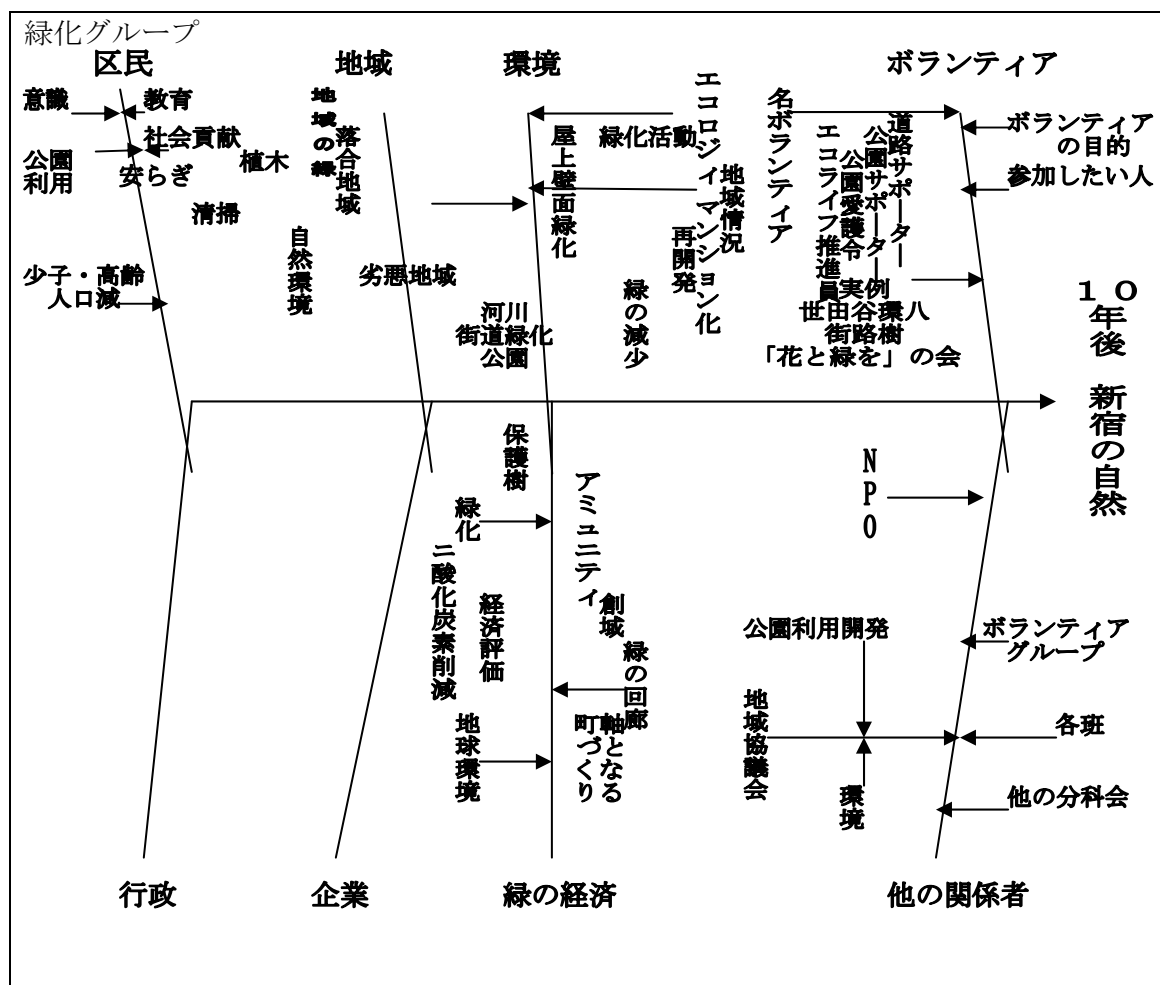
◎：わかりました。今、10月以降についても分かれば早めに教えてもらいたいというご意見がありました。そもそも開催日は皆さんで決めていただきたいと思っているところなのですが、学識の先生のご都合であるとか、会場の都合であるとかがありまして、開催できる日が限られてしまいます。現在、先生方の都合を調整させていただいたところですが、11月開催の分までは、大体の目安で、これはリーダー会議で決めていただこうと思いますが、事務局の方としましては11月5日の土曜日と11月25日の金曜日を頭に描いているところです。これはまだ案の状況ですので、リーダー会議で決定させていただきたいと考えているところです。あくまでも参考ということでよろしくお願いたします。

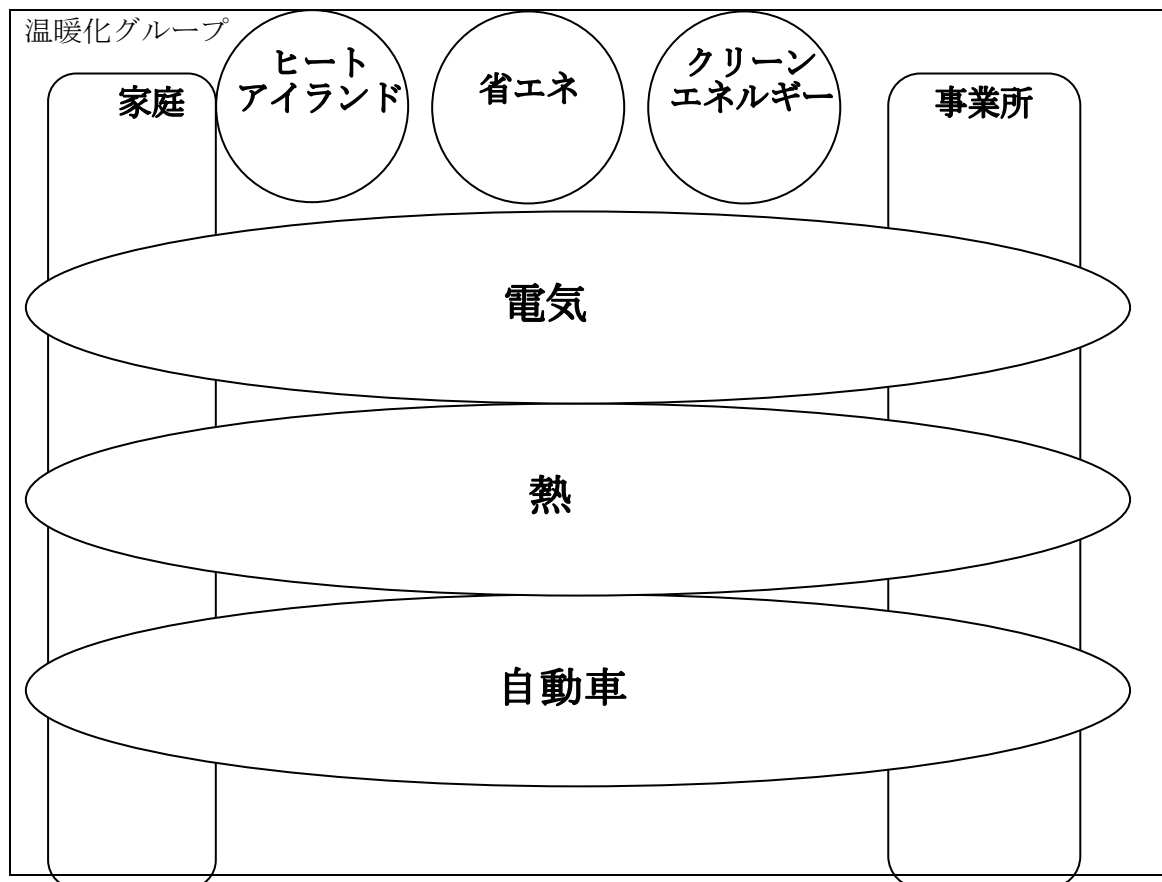
他にご質問はございますか。ないようでしたら、本日は遅くまでかかりましたが、これから台風が来るかもしれないということもあります、お気をつけてお帰りください。どうもご苦労様でした。

(拍手)

以上







環境と美化グループ

当面の活動目標

9月	現状把握	グループの進め方
10月	問題点の洗い出し	身近な問題から
11月	解決策	
12月	将来像	
1月	中間のまとめ	

個別のテーマ（次回系列化する予定）

・まちのごみ	・空気・騒音・臭気	・路上駐車と抜け道
・歩道のはみ出し商品・看板	・繁華街の客引き	・狭い区道と歩道
・放置自転車	・道路の狭さ	・電柱
・公園・ホームレス	・防犯（カメラ等）	

エコエコグループ

地域の中でコミュニティービジネスを考える

例えば

- ・ポイント利用
- ・情報交換の場作り
- ・地域内での認証
- ・☆お互いにメリットがあるシステムが大切
- ・単純な仕組みが大切